

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作と果樹作が主体の中山間農業地域
- 特産物であるブドウ(ピオーネ)の生産における担い手確保が危ぶまれる中、ブドウの産地化をさらに強めるために、担い手の一層の経営発展が必要。

【支援内容・背景】

- 産地の収益力強化と担い手の経営発展を推進するため、産地・担い手の発展の状況や経営規模に応じて切れ目なく支援する。
- 助成対象者は、市内で果樹作を展開する農業法人であり、自らの創意工夫と判断により経営の高度化に取り組むために必要な農業施設の導入を支援。

岡山県



真庭市北房地区

助成対象者「法人A」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和32年 法人設立
- 平成27年 農業分野の部署を新設  
ブドウの栽培を開始
- 平成31年 経営改善計画の認定



《事業活用の背景》

- ブドウの収益力向上を図るために、暖房機や灌水施設を完備したパイプハウスを導入。

【事業実施時の状況】  
〈R1年度〉

○売上高	1,200万円
○栽培面積(ブドウ)	
露地	74a
ハウス	0a

《事業による整備内容》

- ブドウ用パイプハウス 4棟 (1,584㎡)
  - 事業費 20,020千円
  - (国費 5,460千円)
- 暖房機 2台
  - 事業費 3,380千円
  - (国費 848千円)
- 灌水設備一式
  - 事業費 1,430千円
  - (国費 390千円)



【現在の経営状況】  
〈R3年度〉

○売上高	2,800万円 (233%)
○栽培面積(ブドウ)	
露地	114a (154%)
ハウス	16a

事業の  
効果

《対象者》 農業経営の規模拡大を目指す上で、ハウス栽培を導入したことにより、生産・販売の多角化を図る体制を構築した。

《地区》 ブドウの露地とハウス加温栽培の複合経営モデルの確立を図る。